

ご主人様初級講座

本講座はSM公開講座を受講し、さらに「支配」を実践していきたいS男性のために開講いたします。

もしあなたがM女性を適当に弄ぶために都合のいい女として見ていたり、自分の加虐的な欲望を満足させるだけのSMがお望みなら、ここから先は読むだけ時間の無駄です。

どうか大切な時間を無駄になさいますように。

§ 1 奴隷の見分け方

§ 2 最初の一歩のその前に

§ 3 初めての気持ち

§ 4 優しさの苦しみ

§ 5 永遠の愛奴

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

ご主人様初級講座

§ 1 奴隷の見分け方

もしあなたの目の前に100人のM女性がいたとしたら、そのうちの一人ぐらいは自分の奴隷にすることができるだろうなんて甘いことを考えていませんか？

奴隷にするんだからM女性に選ぶ権利などなく、あくまでも選ぶ権利は自分の方にある。

もちろん正論ですが、実際はそうはいきませんよね。

お互いがSでありMであることを知った上であなたを受け入れてもらえなければ主従関係が成立しないのが現実です。

そこで、あなたを受け入れてくれるM女性、つまりあなたの奴隷になるM女性を見分ける方法について考えてみましょう。

ここで勘違いして欲しくないのは、自分はこういうプレイが好きだからそれを望んでいるM女性を探すというのではなく、あなた流の「支配」を受け入れることができるM女性を見分けることを目的としていることです。

プレイの嗜好を否定するわけではありませんが、それはそれとして「支配」の実践という立場で考えてみます。

さて、結論から先にいうと、あなたの奴隷を見分けるということは、あなたをM女性に受け入れさせる方法であることなのです。

もう一言いえば、無理矢理に受け入れざるを得ないようにするのではなく、素直に受け入れることができるようにするにはどうしたらいいのかということです。

たとえ未完成であっても「支配」をめざしたいという意志があれば、それは自ずと態度に現れてきます。

そして、たとえ「服従」に目覚めていなくてもその資質があるM女性なら、それを本能的に感じ取ることができるはずです。

「S Mというのは信頼関係が大切なんだよね。もちろん信頼関係は愛情が伴わなければ生まれないのさ。」

なんて、どっかで聞いた言葉をそのまま言ってみたところで、所詮付け焼き刃ではすぐに刃こぼれしてしまいますよ。

S M公開講座をよ～く復習して、あなた流の「支配」を見つけてください。

S として、主従関係というものをどのように考えているか、奴隷をどのように育てていきたいのか、あなたなりのS M観をしっかりと持っていれば、ただでさえ少ないチャンスが無駄にしないで済むのではないのでしょうか。

あなたの奴隷になるべきM女性を見分けるということは、あなたという人物を自分が仕えるべきご主人様として見分けさせることなのです。

M女性との出会いのチャンスを作る方法にお悩みの方はとても多いと思います。

S M系の伝言やツーショット、パソコン通信やインターネット、パーティやサロン、マニア倶楽部などの専門誌、他にもいろいろとあるとは思いますが、それなりにチャンスはあるはずです。

たとえばインターネットのあちこちにある掲示板や伝言板に片っ端から載せても全然返事がこないと嘆いている人もいるでしょうが、そんなあなたにひとつだけアドバイスさせてください。

もちろんそういうところをご覧になる女性がすべてMであるとは限りませんが間違いなくS男性との出会いを求めている方はいらっしゃいます。

そんなM女性からメールを貰うためには、前述のしっかりしたS M観はもちろん必要ですが、あなたをアピールするだけでなくぜひM女性の立場に立って考えてあげて欲しいのです。

どんなに支配を望んでいてもM女性が踏み出すためには「怖さ」があります。

これについては奴隷実践講座で詳しく述べることにしますが、経験のあるなしに関わらずこの「怖さ」が消え去ることはありません。

あなたの「支配」にたいする姿勢とともに、M女性の立場に立って「怖さ」を和らげてあげる気持ちを表せば、たとえどんな場所であってもいつかは必ずチャンスがくるはずです。

その時がくる前にぜひあなた自身を磨いてください。

奴隷を見分ける上で、もう一つ注意すべき点があります。

M女性の中には、ある特定のプレイは好きだけどそれ以外はいやだとか、このプレイだけはできないと平気でおっしゃる方がいます。

それもほとんど経験がないに等しいのにです。

このように思いきり勘違いしているにも関わらず、私はMですとおっしゃるような女性は「支配」をめざすあなたには無縁の存在だと思ってください。

いままでの講義を受けて、こういう気持ちも聞き入れてあげる必要があるのではと思われるかもしれませんが、それは違うのです。

たとえ過去の経験の上での言葉だとしても、何をするかを決めるのはご主人様であるあなたです。

たとえ同じことをするにしても、あなた流の方法であなた自身の手で行えば違った結果が得られるかもしれません。

それでもどうしても受け入れられないようであれば調教のメニューから外すまでのことなのです。

そういう経験をしていくことでお互いの関係が深まっていくのだと思ってください。

また逆に、私はこういうプレイが好きなのでそういうことに興味のある人を探しています、
というのは「支配」をめざすあなたにはそぐわない態度でしょう。

もちろんあなたにも好きなプレイがあるでしょうし、知り合ったM女性から、どんなプレイがお好きですか？ というような質問をされるかもしれません。

でも、それはこれからだんだんと主従関係を深めていく過程で、M女性の気持ちや反応を見定めながらあなた自身が決めていくことなのです。

けして、いままでの経験を自慢するかのごとく、こんなプレイやあんなプレイが好きだなんて軽薄な態度は慎んでいただきたいものです。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

ご主人様初級講座

§ 2 最初の一步のその前に

やっとのことで気に入ったM女性を奴隷にすることができそうなあなたはいくら取り繕って見たところで心の中は笑顔で一杯のことでしょう。

何度もそういう出会いを経験してきた人だってやはり嬉しさは変わらないのですから。

道具の準備はできていますか？ まだの方は急いで買いに走りましょう。

大きなバッグを膨らませていざ出陣です。

でも・・・ ちょっと待った！ なのです。

「とりあえず、相性が合うかどうかプレイしてみようか。」

強引にうなずかせることはできるかもしれませんが。

せっかくのチャンスが目の前にぶら下がっているのに見逃すことはないと思いますか？

一度きりのつもりならそれでもいいでしょうね。

ですが、「支配と服従」を目指すあなたならそうして欲しくはないのです。

M女性なら誰にでも手を出すようなご主人様に、奴隷として心から「服従」を誓うM女性についてはこないでしょうから。

はっきりと主従関係を確認するまでは、お互いがSとMであることを知っている、ただの男と女。

試しに命令を出したり、試しにプレイをしたりでは、あなたへの信頼など生まれるはずのないことをお忘れなく。

メールや電話でお互いを確かめあったり、直接会って話をしたりということを重ねた上で主従関係を結ぶことになったとしても、奴隷があなたのことを「ご主人様」と呼んでしまえばこっちのもの、何をしようとこちらの勝手、溜めに溜めたSの本能を爆発させてやるなんていう気持ちでいたら主従関係はあっという間に崩壊してしまいますよ。

まず初めにあなたの奴隷をどんな風に育てていきたいかよく考えてください。

どんなところを延ばし、どんなことを引き出してあげるか、もちろん時間と共に変化していくでしょうが、何の考えもなしに欲望のまま調教をしたいだけでは「支配」ではないのです。

あくまでも奴隷を育てる方法のひとつとして調教を行うのが「支配」なのですから。

道具の準備も大切ですが、最初の一步を踏み出すその前にどうか心の準備もお忘れなく。

さて、最初の一步にあたってひとつ注意しておきたいことがあります。

奴隷があなたのことを初めて「ご主人様」と呼ぶためには、それなりの覚悟と決断が必要なのはご理解いただけると思います。

もちろん誰もがすべてというわけではありませんが、「ご主人様」と呼ぶことにたいしての憧れから、そう呼べることになった自分に酔っていることがあります。

「ご主人様」と呼べる人ができたことを喜んでいるのであって、「あなた」がご主人様になってくれたことを喜んでいるのではないかもしれません。

ちょっとキツイ言い方をすれば、条件さえ合えば誰でも良かったのかもしれない。

最初はそんなものなのかもしれませんが、たとえどんなに時間がかかろうと、あなたに出会え、あなたを「ご主人様」と呼べるようになったことがどんなに素晴らしいことかを教えてあげなくてはなりません。

他の誰でもなくあなただけを必要としていることを心に焼き付けるのがご主人様の役目なのです。

体を縛る縄はお金さえ出せばすぐにでも手に入りますが、心を縛る縄はお金を出しても手に入りません。

カバンを膨らませる前に、あなたの心を膨らませてください。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

ご主人様初級講座

§ 3 初めての気持ち

あなたの前に正座してご挨拶をする奴隷を見て、あなたは何を思うでしょうか。

ただ嬉しいだけ、それともその後のことで頭がいっぱいでそれどころではないですか。

でも、ここまで来るのにあなたの奴隷は並々ならぬ覚悟と決心をしているはずです。

これからあなたの奴隷を大切にしていきたいと思うのなら、その姿をよく見てあげてください。

一口に奴隷といっても、いままでにまったくSMの経験をしたことがない人から過去にご主人様がいたことのある人まで千差万別だろうと思います。

でも、今までの経験を得意げに話す奴隷はいないと思います。

むしろ、大事なご主人様となったあなたと出会う前のことは消し去りたい過去なのかもしれません。

では、これまでの経験についてはふれない方がいいのでしょうか。

そんなことはありません。

奴隷が今までにしてきた経験をしっかりと把握するのはご主人様の義務だと思ってください。

そして、それを正直に話すように命令してあげてください。

ご主人様には知られたくないこと、隠しておきたいことなど存在しないことを教えてあげてください。

ここで一番重要なことは知ることではなく、ご主人様に対して秘密を持つことは許されないということをお知らせすることです。

奴隷が何も話さなくてもすべてお見通しなんていうことができるのは神様くらいのもので
す。

どんな些細なことでもご報告することが自然にできるようにさせてこそ「支配」が成り立
つのです。

奴隷の中には、ご主人様と呼ぶべきではない自称Sに騙されたり裏切られたりした人もい
るでしょうし、あなた以外にはけして言えないような辛い経験をした人もいます。

恥ずかしいから話にくいのではなく、ご主人様に申し訳ないと思うから話にくいので
す。

そんな想いを話させた後は、ちゃんと褒めてあげてくださいね。

「よく言えたね。」の優しい一言は、奴隷にとっては何にも換えがたい宝物なのでから。

そしてあなたの大切な奴隷に、自分があなたの奴隷になるために生まれてきたのだという
ことを教えてあげてください。

ただ偶然に出会ったのではなく、2人が出会う時期が来たからあなたが奴隷の前に現れた
ということ。

そして、それまでにしてきた経験はすべてあなたに出会うために通らなくてはならない道
だったということ。

でも、あなたの奴隷になった今、それはすべてが役目の終わったことなのです。

奴隷が何も恥じることなく自分を差し出すことができるようにしてあげられるのは、あな
ただけなのです。

すべてが新しいスタートなのでから。

何もかもが 初めての気持ち になれるように導いてあげてください。

そして、その気持ちをいつまでも忘れないように躡けてあげてください。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

ご主人様初級講座

§4 優しさの苦しみ

主従関係を結んで何ヶ月かが過ぎようとする頃、いろいろと悩みもでできますね。

自分の思い通りにならないこともしばしばでしょう。

最初が肝心とばかりに厳しく躰をしたら奴隷がついてこれなかったり、逆にゆっくり育てようと最初は優しくしてあげていたら奴隷が勘違いしたりと。

奴隷を躰けるといのは難しいものですね。

でも、M女性というのは普通の女性よりはるかにデリケートな存在なのをご存じの上で主従関係を結んだのですからしっかりと育てていかなければなりません。

さて、お互いのいろいろなことがわかってきて、これからご主人様として不動の地位を築いていこうとする時にあなたはどんなことに注意すればいいでしょうか。

自分が奴隷であることをしっかり自覚させるために言葉遣いや態度を躰ける。

S Mは「飴と鞭」、きちんと命令に従えたときは誉めてあげる。

奴隷が命令に躊躇している時、戸惑っているのか嫌悪しているのか見極める。

それから それから・・・

あなたはあといくつ考えられますか？

とても大切なことですから、いっぱい考えてみてください(^^)

でも、あなたのご主人様として無くてはならない存在になるためにはもっともっと大事なことがあります。

あなたの奴隷は、時としてバランスを崩しそうな不安定な自分をコントロールしてもらえる存在としてご主人様を求めていたはずで。

ご主人様となった今、あなたは奴隷の「心の安定」を与えてあげることに最大限の努力をするべきだとは思いませんか。

せっかくご主人様が出来たというのに、以前よりいっぱい悩みを抱え込んで心が不安定になってしまったのでは「支配と服従」にはほど遠いことがわかりいただけるでしょうか。

では、いったいどんなことに注意すればいいのでしょうか。

それは奴隷がご主人様にたいしてどんなことでも素直にお話ができるようにしてあげることなのです。

奴隷の悩み、苦しみ、喜び、すべてを受け止めることができこそ「俺はお前のご主人様だ」といえるのです。

奴隷にとっては、こんなことをお話ししていいものか、こんなことを言ったら叱られるんじゃないかという迷いがあります。そして、もしそれを口にしてご主人様に嫌われてしまうんじゃないかという怖さもあるわけです。

もちろんご主人様によって「どこまで」の基準が違うでしょうからそれを教えてあげることも大切だとは思いますが、できればご主人様にたいしての悩みですらご主人様に相談できるようにさせたいものです。

もちろん奴隷としての節度をわきまさせた上でのことではありますが。

主従関係の悩みを他の人に相談されるのはご主人様としてあまり愉快なことではありませんからね ^^;

ということで、ここで<ミニミニ初級講座>です(笑)

奴隷の日常におこった出来事を何でも話させるようにしましょう。

ただし、命令ではあっても強制するのではなく、ご主人様にご報告するのがごく自然なことに感じられるように躡けてあげるのです。

なんでも受け止めることが煩わしいとか面倒くさいと感じるようでは「支配と服従」は成り立ちませんよ ^^;

でも、なんでもハイハイと聞いていたのではこれまたご主人様としては失格です。

叱るべき時は叱り、誉めるべき時は誉め、アドバイスするべき時はしっかりと。

「さすが私のご主人様 (*^^*)」と認識させましょう。

こうなっこそ始めてご主人様になんでも話せる奴隷になれるわけです。

以上、<ミニミニ初級講座>お終いです(^^)

さてさて、ご主人様というのは大変なものです。

あなたが真のご主人様として奴隷にとってなくてはならない存在になるためには並々ならぬ努力と忍耐が必要かもしれません。

「支配と服従」を目指すご主人様には時として、厳しくするべき時に優しさが出てしまったり、優しくするべき時に迷いが出てしまったりすることもあるかもしれません。

奴隷に「心の安定」を与えてあげるためには、まず自分の心のバランスが取れなければなりませんね。

でも、この「優しさの苦しみ」を知っているからこそ奴隷を大きな心で包んであげることができるということもお忘れなく。

「優しさの苦しみ」はあなたの心のバランスを写す鏡なのです。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

ご主人様初級講座

§5 永遠の愛奴

どんなに経験を積まれたご主人様であっても、主従関係を続けていくというのはなかなか大変なことです。

奴隷の前に現れるいくつもの壁を、時には取り払い、時には乗り越えさせながら、少しずつ馴染ませていくのはとても大きなエネルギーを必要とするからです。

時には奴隷があなたから離れていくのではないかと不安になることだってあるかもしれません。

そして時にはあなたが奴隷を躰けていく情熱を失いかけることだってあるかもしれません。

こうしていくつもの峠を越えながら「支配」を作り上げていかなければならないのですから。

まだ奴隷を飼ったことのないS男性はこう思うかもしれません。

「なんかえらく大変そうだなあ・・・」

そりゃそうですよ、ホントに大変なんですから ^^;

でも、「支配と服従」を目指すご主人様ならきっといつか領いてもらえると思います。

たしかにM女性と出会い奴隷にすることはそうそう簡単なことではありません。

しかし、ご主人様になること、ご主人様であり続けることはそれ以上にもっと大変なことなのです。

夢々、甘い幻想を抱かないように（笑）

さてさて、話は変わりますが「愛奴」という言葉を聞いたことがありますか？

愛しい奴隷とでもいうのでしょうか。

奴隷として愛しているのか、愛する女性が奴隷なのか・・・

どちらにせよ、奴隷に対しての最上級の表現であることには間違いはなさそうです。

では、ご主人様の中で「おまえは私の奴隷だ」から「おまえは私の愛奴だ」に変化するの
はどんな時なのでしょう。

これまた人それぞれでしょうから、最初から「愛奴 愛奴」と連呼する人から、心の中
では思っけてもけして口に出すことがない人までいろいろでしょう。

何をもって「愛奴」とするかはぜひご自分で頭を捻ってお考えいただきたいものです。

でも、「支配と服従」をめざすご主人様なら奴隷を「愛奴」と呼ぶにはそれなりの覚悟を持
っていただきたいのです。

たとえ何があろうとあなたの奴隷があなたから離れていくことなどあり得ないという自信、
そして、たとえ何があろうとあなたが奴隷を見放すことなどあり得ないという決意。

このふたつをいつまでも持ち続けることができる、そう思えたときあなたの中で奴隷が「愛
奴」に変わっていくのです。

たとえ口に出さなくても、あなたが奴隷を「愛奴」と決めたその気持ちは強い力で奴隷に
伝わっていくはずです。

そして、奴隷の持っていた不安という縄による呪縛から解放し、ご主人様の心の縄で縛る
ことができる日は、あなたのすぐ目の前にあるはずです。

「永遠の愛奴」とは、奴隷がご主人様に捧げる言葉ではなく、あなたが奴隷に授ける自信と決意の現れなのですから。

あなたの奴隷を「愛奴」と心に決める日が一日もはやく訪れますように・・・

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp